

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(熊本創生推進機構)

目標1: 男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
目標2: 男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
研究者が育児をしながら研究等に専念できるよう、男女共同参画推進室と本機構が協力してルポゼ2階に託児ルームの設置に取り組み、平成31年度からの運用が可能となった。
目標3: 男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
平成30年度 熊本大学熊本創生推進機構 政策フォーラム『小さな命をつなぐ社会であるために』を開催し、思いがけない妊娠に悩む女性の支援、赤ちゃんポストの今後、特別養子縁組など様々な養子制度や親権の取扱の文化的な制約と挑戦、児童虐待の防止など、幅広く子どもが幸せに生まれ、生きることができる社会をどう作るのかについて、政策や行政、そして民間と補完し合う仕組みについて討論した。(平成30年10月6日開催)
目標4: 次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
育児中の研究コーディネーター(URA)の勤務にあたって、育児時間及び育児短時間取得するよう勧め、また、業務負荷がかからないようワークシェアリングを行い、長時間労働にならないよう配慮した。
その他: 目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
・本機構安部准教授が市民団体「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」のアドバイザー(ボランティア)に就任し、活動予定。